

補助金等評価調書 平成29年度行政評価（シート1）

所管部課名	協働推進部	産業振興課	作成日	平成29年10月13日	No.	7
作成責任者(課長)氏名	比留間 毅浩	作成者氏名	井上 ひとえ	電話	226	
補助金等名	体験型市民農園開設事業費補助金					
開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 13年 月 <input type="checkbox"/> 不詳					
実施根拠	法令等の名称 農園開設補助金交付要綱（単年度要綱）					
補助区分	<input type="checkbox"/> 定額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> その他 （説明）⇒ 補助対象経費の2/3（補助限度額あり）					
補助金等の概要	対象： （交付先）	体験型市民農園開設者				
	補助内容： （補助基準等）	体験型市民農園の開設に要した経費の一部を補助するもので、事業に要した経費の3分の2と147万円とを比較していずれか少ない方の額を交付する。				
	意図： （目的、趣旨）	体験型市民農園を開設する際に要する上下水道設備、トイレ、物置等の設置に対し、補助金を交付することにより、開設に係る費用負担の軽減を目的とする。				
	実施結果： （具体的成果） ※28年度実績	平成28年度実績なし 平成13年度ふれあい農園（40区画新設） 平成14年度ふれあい農園（20区画増設）、わかな農園（40区画新設）				
他市等の状況	近隣市5市全てにおいて、開設時の設備費用等の補助を行っており、さらに開設後の補助を行っている市も3市ある。					
【評価指標】	指標名	単位	説明・計算式			
活動指標	①	補助金交付農園数	園			
	②					
成果指標	①	利用者数	人			
	②					
費用・成果の推移	平成13年度決算	平成14年度決算	平成29年度予算	備 考		
交付金額(千円)	1,424	1,730	0			
うち一般財源	1,424	1,730	0			
所要人員(人)	0.03	0.03	0.00			
総コスト(千円)	1,678	1,984				
活動指標	①	1 園	2 園	園		
	②					
成果指標	①	40 人	100 人	109 人	平成29年度は4月1日現在の利用者数	
	②					
【交付団体等の決算・予算の状況等】 ※特定団体に交付の場合のみ記載						
単位：千円	平成13年度決算	平成14年度決算	平成29年度予算	平成14年度の補助金の使途		
収入総額(千円)				交付金額(千円)		
収入内訳	市補助金			使途内訳		
	会費					
	繰越金					
	事業収入					
	その他					
支出総額(千円)				各種割合		
支出内訳	食糧費、交際費			団体収入に占める補助金の割合		
	人件費			団体収入に占める繰越金の割合		
	事業経費			交付金額に対する繰越金の割合		
	その他					
過去の評価経過	協議会・委員会の意見要旨	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金等検討協議会(平成20年度) <input type="checkbox"/> 行政評価委員会(平成 年度) 農業体験を通して収穫の楽しさを体験し、農家の方との交流も図れるなど、農業振興策として期待できる。 近年は、新規開設者がいないため、周知の方法を工夫するなどし、農家の理解を得られるよう努められたい。 今後も社会経済情勢等の変化に対応しつつ、補助を継続されたい。				
	見直し等の状況					

評価項目	評価	確認項目（※○・×のどちらにも該当しない場合は、「－」を選択。）
次 評 価	公益性	○ ① 市民からのニーズが大きい。
		○ ② 補助事業に類したサービスを提供可能な機関や団体が他にない。
		○ ③ 被交付者だけではなく、一般市民にも間接的な受益がある。
	効率性	× ① 補助金の内容や補助額等について、過去5年以内に見直しを行っている。
		× ② 補助額、実施手法等について、過去に他市等との比較を行った。
		× ③ 補助期間(終期)を設定している、又は設定の予定がある。
		(○の場合)⇒終期 平成 年 月
		○ ④ 必要最小限の補助であり、縮減や所得制限導入の余地はない。
		× ⑤ 補助額、補助率等の算定根拠を説明できる。
	(○の場合)⇒算定根拠 (説明)	
	有効性	○ ① 補助基準が明確である。
		× ② 補助金の成果について、具体的な数値目標等を設定している。
		(○の場合)⇒目標内容 (説明)
	適格性	○ ③ 補助金の交付により、期待された効果が得られた。
		○ ① 繰越額が補助金額を上回っていない。
× ② 補助金に依存することなく、被交付者が自主財源の確保に努めている。		
(○の場合)⇒取組内容 (説明)		
○ ③ 決算書だけではなく、帳簿や領収書等で使途の確認ができる。		
その他	－ ④ 市税の滞納がないなど、被交付者が市民としての責務を果たしている。	
	○ ⑤ 交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費の経費に補助金を充てていない。	
	× ① 補助の目的、内容及び実施時期に緊急性又は優先度の高さが認められる。	
	(○の場合)⇒その理由 (説明)	
	○ ② 成果向上のため、被交付者自らが活動内容の検証、改善等を行っている。	
	(○の場合)⇒改善内容等 (説明) 利用者の交流を図るための収穫祭を行うなど農園の活性化に努めている。	
○ ③ 補助金に、市民との協働や市民の主体的な取組を促進する作用がある。		
○ ④ 迂回助成(被交付団体から他団体への、補助金を原資とした助成)は行われていない。		
【総合的意見(今後の方向性)】 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 一部見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止 (説明) ※「×」とした項目に言及しながら、所管課としての意見を具体的に記載ください。 体験型市民農園は、市民の農に対するふれあいや農地保全を目的として設置している。第四次長期総合計画後期基本計画では、平成32年度までに体験型市民農園を現在の2園から3園に増やす目標を設定している。 このことから、今後も農園を開設する際には、整備費用等を対象とした補助を継続していく必要がある。		
二 次 評 価	【総合的意見(今後の方向性)】 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 一部見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止 (説明) 本補助金は、体験型市民農園の開設に係る費用を補助するものであり、本市の農業振興を図る上で一定の意義が認められる。 また、体験型市民農園は、利用者が農作業を通じて収穫の楽しさを経験することができるとともに、農家の方や利用者同士における交流の促進が期待されるため、今後も補助を継続することが適当である。	
行 政 評 価 委 員 会 意 見	体験型市民農園は、市民が農業に関わる契機となり、また、農業に対する理解を深めていく上で一定の意義が認められるため、今後も補助を継続することが適当であると思料する。 なお、国が都市農地に対する規制緩和について検討していることから、国の動向に留意するとともに、都市部における農業と住民の交流を深める取組を積極的に進めていくことを求めたい。	